



I 第35週の発生動向 (2025/8/25~2025/8/31)

- 1. 百日咳については、複数の保健所管内で患者が報告されています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
2. 新型コロナウイルス感染症については、報告数の増加が継続していますので、「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内の換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
3. インフルエンザについては、県全体の定点当たりの報告数が流行の目安である1.00を上回ったことから、流行入りしたと考えられます。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「アメーバ赤痢」です。最終ページに掲載しています。

II 第35週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

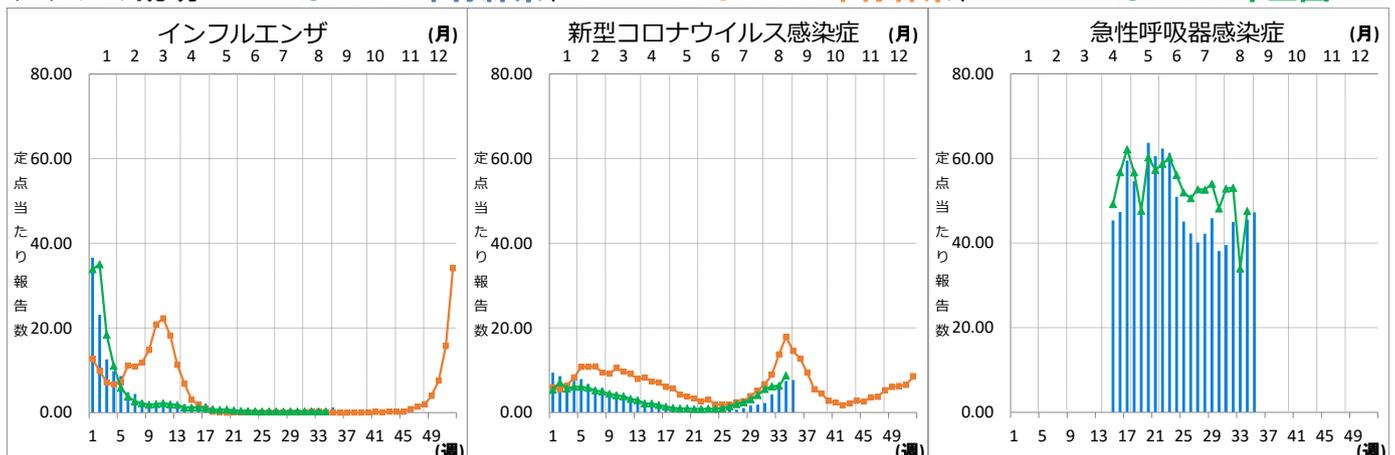
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

Table with columns for region (東青, 中南, 三八, 西北, 上北, 下北), disease name, and counts per point. Includes rows for Influenza, COVID-19, Acute respiratory infection, and various pediatric diseases.

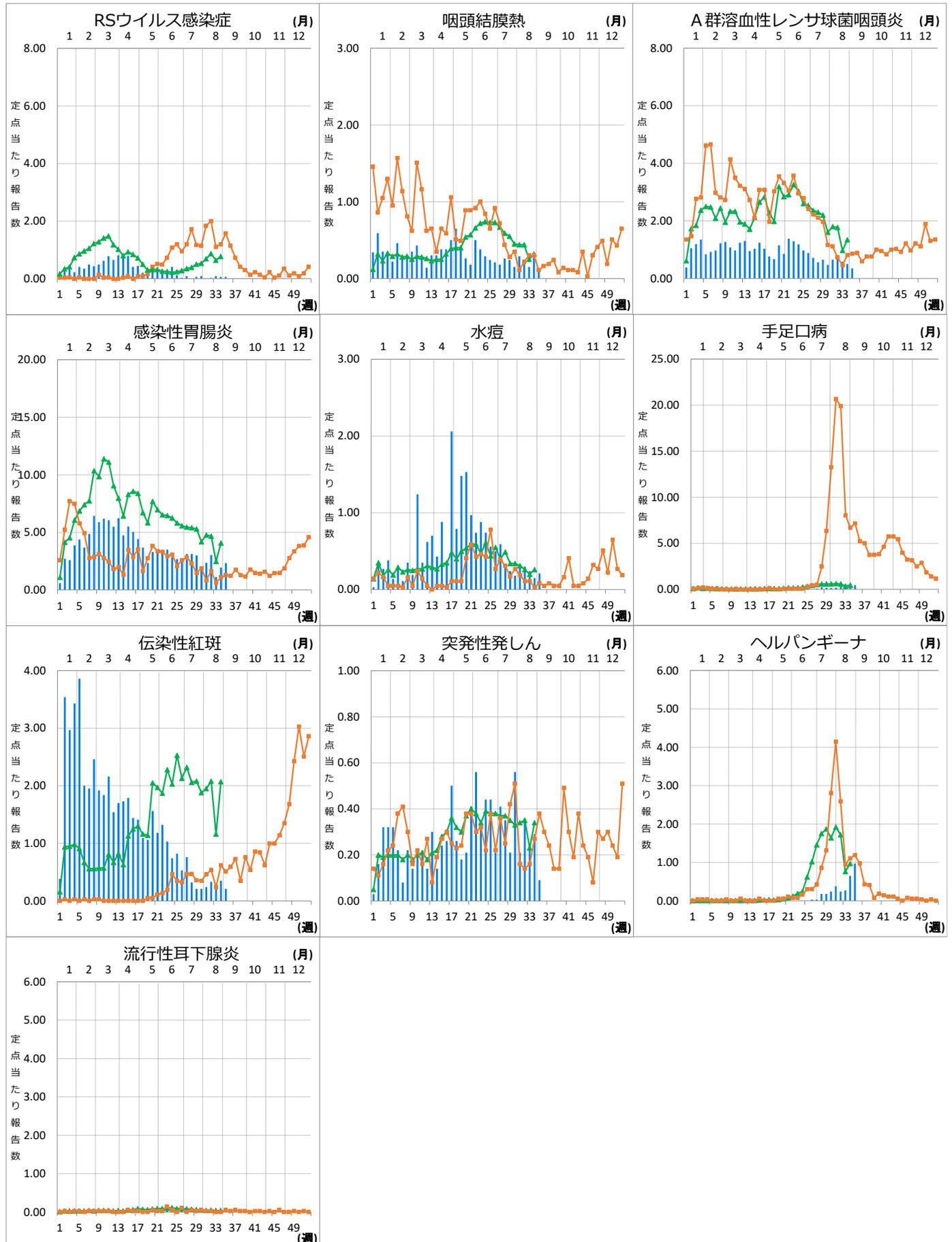
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第35週、ただし全国は前週)

グラフの説明: 青線は2025年青森県、赤線は2024年青森県、緑線は2025年全国



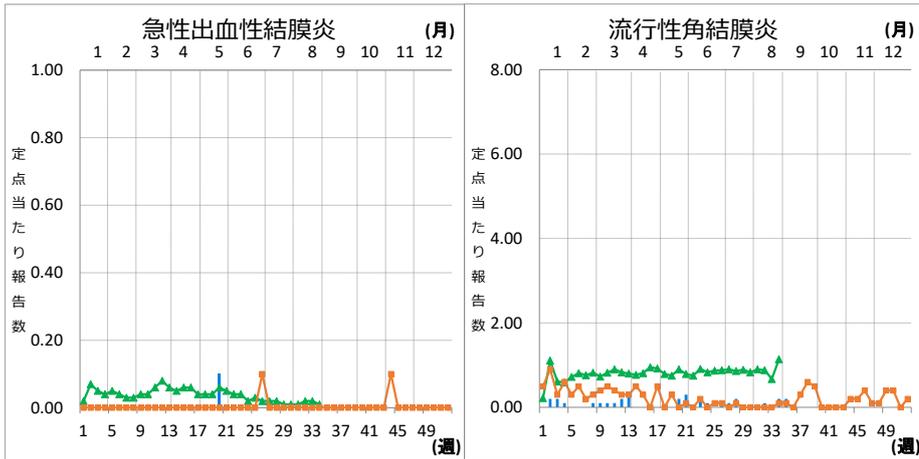
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第35週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —■は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



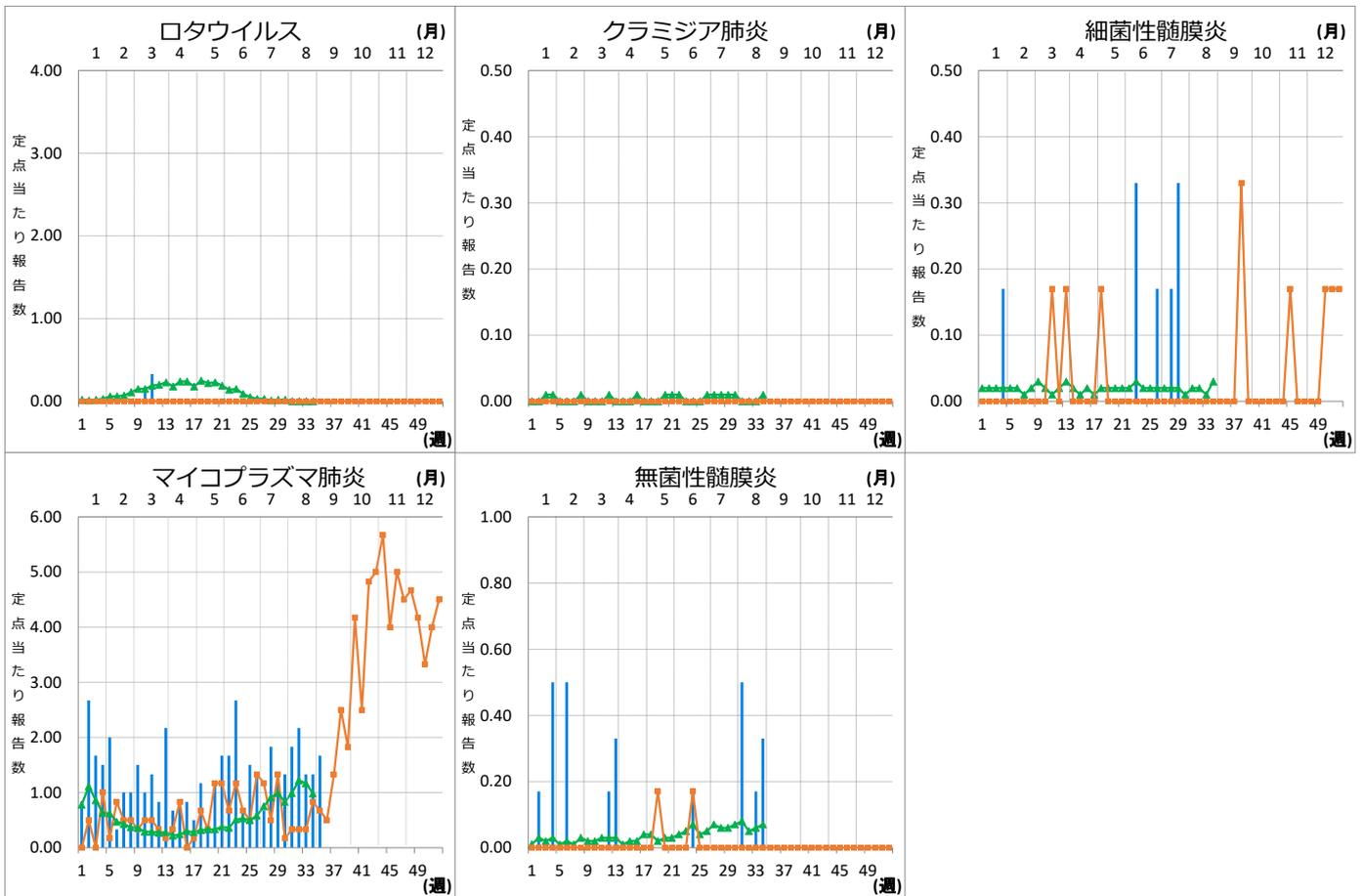
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第35週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第35週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 28~35 週)

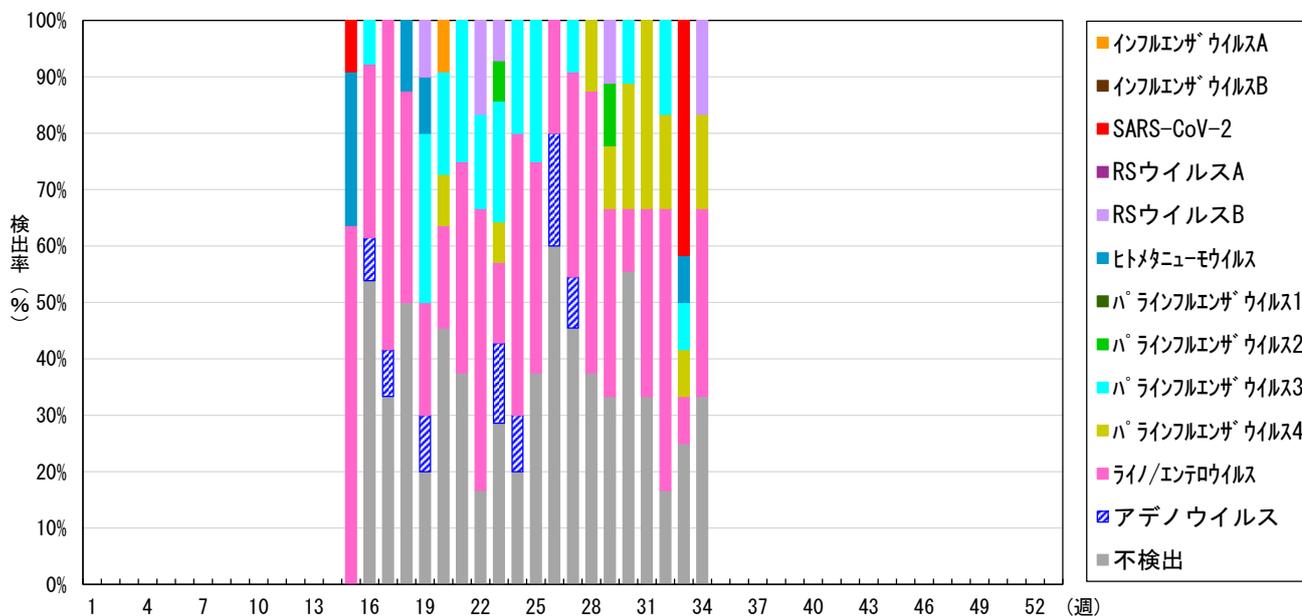
急性呼吸器感染症	2025年							
	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週
提出検体数	7	8	9	6	6	12	5	8
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	5	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	0	1	0	0	0	0	0	1
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	1	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2	0	1	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス3	0	0	1	0	1	1	0	0
パラインフルエンザウイルス4	1	1	2	2	1	1	1	1
ライノ/エンテロウイルス	4	3	1	2	3	1	2	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
不検出	3	3	5	2	1	3	2	0
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	8

※第28週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザ4及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第29週に提出された検体のうち、RSウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第34週に提出された検体のうち、RSウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週~)



Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 35 週）

- ・結核(二類感染症) : 青森市 1 人、中南 1 人、三戸 1 人、下北 1 人 (2025 年計: 74 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症) : 中南 1 人、八戸市 2 人 (2025 年計: 26 人)
- ・つつが虫病(四類感染症) : 中南 1 人 (2025 年計: 15 人)
- ・百日咳(五類感染症) : 青森市 2 人、中南 3 人、八戸市 4 人、西北 1 人 (2025 年計: 677 人)

Ⅷ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 32 週～2025 年第 35 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
32	百日咳3人	梅毒1人 百日咳11人	百日咳3人	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症3人 つつが虫病1人 百日咳2人	百日咳1人
33	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳2人	百日咳4人	百日咳1人	百日咳2人	
34	結核1人 百日咳1人	結核2人 百日咳12人	結核1人 百日咳2人	百日咳1人	百日咳1人	
35	結核1人 百日咳2人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人 百日咳3人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症2人 百日咳4人	百日咳1人		結核1人

第 34 週に中南保健所管内で百日咳の届出が 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025年第1週～第34週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	9051	3	36	2246	20	5	386	86	22	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	8	5	6	142	2	18	102	100	380	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	17	13	1	1479	15	292	155	847	20
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	360	18	116	967	543	25	479	62	2556	457
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	9041	107	62	60	69797	11	217	5		

青森県（2025年第1週～第35週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	74	26	1	15	1	6	1	6	1	3
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳			
累積報告数	5	1	3	14	16	1	677			

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第35週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第35週	報告なし		

2025年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32週	33週	34週	35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0						14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0						235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0						35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0						676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0						7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0						88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0						1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0						10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1								57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13								1009

感染症の窓

アメーバ赤痢は、原虫である赤痢アメーバによって引き起こされる疾患です。病型は消化器症状を主症状とする「腸管アメーバ症（大腸炎）」と、赤痢アメーバが血液によって腸以外の臓器に病変を形成する「腸管外アメーバ症」に大別されます。大腸炎は、イチゴゼリー状の粘血便、下痢、しぶり腹（便意を感じるが、ほとんど便が出ない状態）、腹痛などの赤痢症状がみられます。また、腸管外アメーバ症の大部分は肝膿瘍（肝臓に膿がたまっている状態）で、この場合には、38～40℃の高熱、右わき腹の痛み、肝臓の腫れ、吐き気、嘔吐、体重減少などの症状がみられます。

全国では、2017年から減少傾向にあり、青森県では2015年に最も多い12例の患者が報告され、それ以降は1～7例の報告で推移しています（図）。2025年は、第35週現在、1例報告されています。

感染者の多くは途上国に集中しており、先進国では、途上国からの帰国者によくみられる感染症です。主な感染経路は経口感染で、ワクチンはありません。途上国への渡航の際は、生水、氷、生肉、生野菜を避け、十分加熱調理してあるものを食べましょう。食事の前には手を洗い、手指衛生を心がけましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

👉 [アメーバ赤痢とは\(国立健康危機管理研究機構 HP\)](#)



アメーバ赤痢



図 全国及び青森県におけるアメーバ赤痢患者報告数の推移 (2007～2024年)